



# Vol.7

発行 2008年8月

動物愛護ボランティア

《ねこの会》

事務局：TEL/FAX 0263-36-2192

## ノラ猫が生み出される訳 山田 敏子

私たちが「ねこの会」を立ち上げるきっかけになったのは「捨て猫」の多さからです。公園や河川敷、また公民館などの公共施設周辺や病院、老健施設の前、工場の敷地、お寺や神社、そして悪質なのは学校や保育園などの門の前など各所に捨てられます。さらに残酷なのが別荘地や山間部の林の中など絶対生きられないだろうと思われるような場所に置き去りにもされます。もちろん昔から行われていますが、人目を避けて川へ流し、命を絶たれる猫も相変わらず多いはずで。

これら捨て猫は全て、一般の家庭で飼われていた猫が産んだものです。ノラ猫が産んだ子猫はその母猫に守られていて、なかなか人の手に入りません。大きく育ち人間に捕まらないくらい素早く動けるようになるとようやく母猫が連れ出すので、ヨチヨチ歩きしかできない一ヶ月位の子猫は人間の前には姿を見せないのです。うかつにも人間に捕まったノラの子猫は、それを捕まえて保護するつもりが無い場合、処分するために川に流されるか、保健所へ連れ込まれます。よって各所に捨てられた人懐こい子猫は飼い猫が産んだものか、人から餌を貰って慣らされた猫と言えるのです。大きな声で鳴いている猫も人と関わった母猫が産んだ証です。箱の中でミューミュー鳴く乳飲み子は別として、ノラ猫は人前で鳴きません。1ヶ月を過ぎると子猫は学習を始めます。動物の学習とは母親の真似をすることです。母猫は安易に鳴くと人に見つかる事をよく知っているのです。激しい痛みや危険な目に会わない限りは鳴きません。だから小さくてもノラの子猫はしっかり母親の真似をして鳴かないでいられるのです。

猫を家の中だけで飼っている人は、増えてしまうと困るから猫に不妊手術をする人が多いです。しかし、屋内外へ出入り自由な飼い主は、猫が外で何をしているのか、また妊娠している事も気付かないでい

たり、排泄はあちこちで勝手に用を足してきますから、日に何回も猫トイレの糞尿の始末をしなくてはならない室内飼育に比べると気楽です。また、餌さえ与えておけば良いので多少増えても気になりません。ましてや、屋外だけで飼っている人はもっと猫をよく見ていませんから妊娠どころか何匹居るかも判らない状態でしょう。この様な気楽な飼い主が多数の親猫に大量の子猫を産ませ、猫屋敷になったり、餌代が掛かるからと捨て猫をするようです。そして糞尿で近所が困っているなどと心配もしていない無責任な飼い主は、他人の迷惑どころか猫の幸せさえも深く考えないから、捨て猫の行為自体が普通のことで躊躇することなく捨て猫をします。この様な飼い主に飼われている猫は気の毒です。「猫は飼い主を選べませんから！」。

さて、その捨て猫はどうなるのでしょうか？知らない所に置き去りにされたのですから箱から飛び出して交通事故に遭ったり、カラスや狐の餌食になってしまいます。怖くて藪の奥へ奥へと逃げ込んで野垂れ死にってしまう猫もいるでしょう。運が良ければ優しい人に保護されますが、大半は保護しても飼えないからと困って保健所に持ち込まれます。また、可哀想だと保護されても新しい飼い主に巡り会えなかった子猫は、また捨て猫に逆戻りになる事もあります。そして、その中の一部は遅く生き残ってノラ猫となり、人に追われる生活をするのです。こうした哀れな結末になった猫だって、ノラ猫になりたいなんて望んでいないと思います。

人目を盗んで小猫を捨てる人は心が痛まないのでしょうか？「捨て猫は犯罪です。法律で厳しく罰せられます！」コソコソと悪事を働くことを泥棒猫のようにと例えますが、そんな人間よりも猫は劣るのでしょうか？人の優れた点は自分を相手に置き換えて考えることが出来ることです。思いやりや哀れみの心があれば置き換わることはたやすいことです。